

TAIKO BANK

MINI
DISCLOSURE

2024年度 ミニディスクロージャー誌 兼 第123期 営業のご報告



ごあいさつ

皆さまには、日頃より大光銀行グループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。このたび、2024年度のミニディスクロージャー誌（営業のご報告）を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。ご高覧のうえ、当行に対する理解を一層深めていただければ幸いに存じます。

さて、地域金融機関を取り巻く経営環境をみますと、「金利のある世界」への移行が進むなかで、国内外の経済・金融市場を巡る不確実性の高まりや経済社会の構造的な変化に直面しております。そして、これら国内外の経済・金融市場は、グローバルに相互関連しながら、刻々と変化しております。

こうした状況のなか、地域金融機関は、地域にとって重要な社会インフラとして、地域企業の価値向上等を通じて地域経済の回復・成長を支える役割を期待されております。

このような環境認識のもと、当行は、長期戦略方針に基づく第13次中期経営計画「Value Up～ワクワクする未来へ～」を鋭意、推進しております。誰にも負けない高い熱量でお客さまに親身に寄り添う「大光らしさ」に磨きをかけ、本計画に掲げる施策を着実に実践することで、地域から信頼され、地域とともに成長し、地域の未来を創造する銀行、また、働く全ての人が互いに高め合い、いきいき・はつらつと輝いている銀行を築き上げてまいります。その過程においては、SBIグループとの資本業務提携を通じてオープン・イノベーションをさらに加速させ、地域企業の生産性向上と地域のお客さまの資産形成をサポートすることにより、地域社会・経済の活性化を力強く支えてまいります。

併せて、お客さまから信頼いただき、安心してご利用いただくため、コンプライアンスの徹底やリスク管理の高度化に引き続き取り組んでまいります。

当行は、こうした取組みにより、地域に根差した金融機関としての社会的責任と公共的使命を果たしてまいります。

皆さまにおかれましては、引き続き倍旧のご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2025年6月

株式会社 大光銀行

取締役頭取

川合昌一

Contents

ごあいさつ	1
■ 大光銀行のプロフィール／経営戦略	
第13次中期経営計画	2
■ 2024年度決算の概況	
預金・貸出金・預り資産	3
損益	4
金融再生法開示債権及びリスク管理債権	5
自己資本比率	5

有価証券の評価損益	5
格付	5
■ トピックス	
最近のニュース	6
■ 地域社会・経済の活性化に向けた取組み	
事業者の皆さまへ	7
個人の皆さまへ	8

■ 持続可能な社会の実現に向けて	
サステナビリティへの取組み	9
■ 2024年度決算の状況	11
■ 大光銀行グループ・株主の状況／役員のご案内	13
■ 株主還元方針・株式の状況・ご案内	14
■ 店舗一覧	15

●本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切捨てのうえ表示しております。
●預金には譲渡性預金を含めております。

プロフィール

(2025年3月31日現在)

本店所在地	新潟県長岡市大手通一丁目5番地6
創立	1942（昭和17）年3月
総資産	1兆6,757億円
預金	1兆4,693億円
貸出金	1兆1,711億円
資本金	100億円
従業員数	897人（うち出向者19人）
店舗数	71店舗 新潟県内62 新潟県外8 インターネット支店1

たいこうの「地域密着宣言」

- 私たちは、お客さまの良き相談相手として、
- ・お客さまを一番理解する銀行を目指します
 - ・「お客さま目線」で、全力で考えます
 - ・お客さまの未来のために、新鮮な気付きをお届けします
 - ・お客さまからのご相談に素早くお応えします
 - ・お客さま一人ひとりに、いつも笑顔で心を込めて接します

第13次中期経営計画（2024年4月～2027年3月）

- 当行では、2024年4月より3ヶ年の第13次中期経営計画「Value Up ～ワクワクする未来へ～」を推進しております。
- 本計画に掲げる施策を着実に実践することで、地域から信頼され、地域とともに成長し、地域の未来を創造する銀行、また、働く全ての人が互いに高め合い、いきいき・はつらつと輝いている銀行を築き上げてまいります。

第13次中期経営計画〔2024年4月 ▶ 2027年3月〕
Value Up ～ワクワクする未来へ～

【戦略①】

お客さまへの提供価値の向上

【戦略②】

業務改革

【戦略③】

人的資本の価値向上

【戦略④】

サステナビリティ経営の実践

【戦略⑤】

株主価値の向上

基本戦略

計数目標

【カテゴリ】		【目標項目】	【スタート値】 (2023年度)	【1年目実績】 (2024年度)	【最終年度目標】 (2026年度)
財務指標 (連結ベース)		ROE	2.31%	3.28%	4.0%以上
		当期純利益	17.1億円	24.9億円	30億円以上
		OHR（コア業務粗利益ベース）	69.9%	68.1%	70%以下
		自己資本比率	8.22%	8.60%	8%以上
非財務指標	地域活性化 指標	お客さまの「なりたい姿」への貢献度	69.6%	－（※）	80%以上
		お客さまとの対話等の活動量	105人分	109人分	127人分
	人的資本 指標	エンゲージメントスコア	61点	60点	68点以上
		社外経験割合	17.3%	16.7%	22%以上
サステナブル指標 (環境目標)		スキルポイント	68.4pt	72.1pt	75pt以上
		CO ₂ 排出量（Scope1・2）の削減	(2013年度比) ▲33%	(2013年度比) ▲42%	(2013年度比) ▲37%
		サステナブルファイナンス実行額	264億円	494億円	(3年間累計) 1,125億円

企業価値の向上

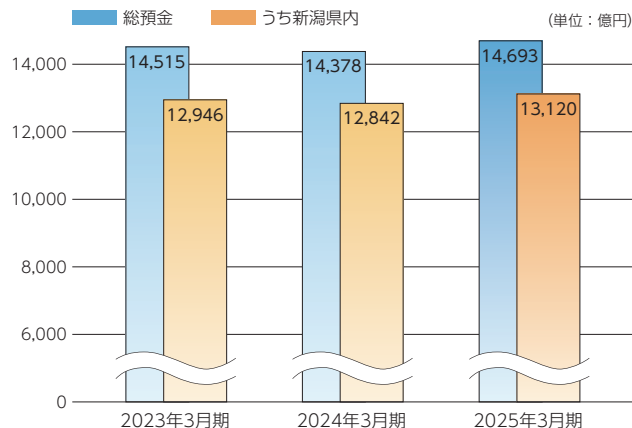
株主価値の向上

=

(※) お客さまの「なりたい姿」への貢献度は、3年毎に実施している法人取引先へのアンケートに基づき算定しており、2024年度は未算定

預金・貸出金・預り資産

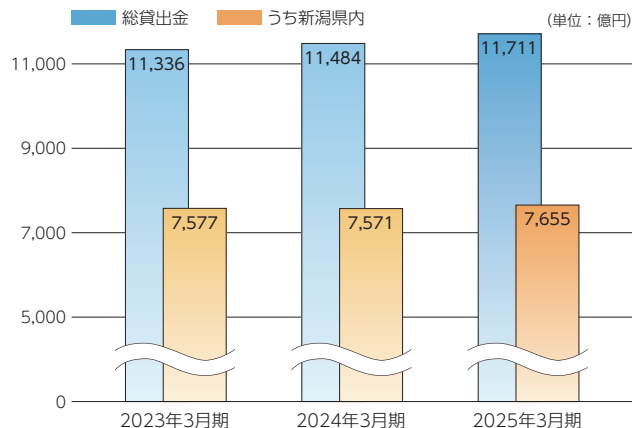
● 預金残高



預金等残高（含む譲渡性預金）は、法人預金や公金預金が増加したことなどにより、前年同期比315億円増加の1兆4,693億円となりました。

新潟県内預金等残高は1兆3,120億円、県内預金比率は89%です。

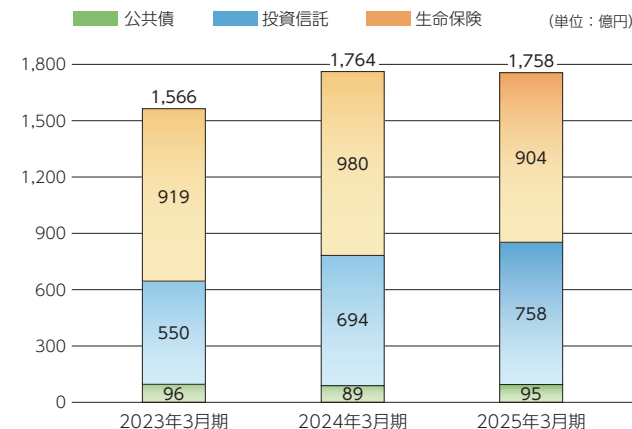
● 貸出金残高



貸出金残高は、中小企業向け貸出が増加したほか、住宅ローンの増加により個人向け貸出が増加し、前年同期比227億円増加の1兆1,711億円となりました。

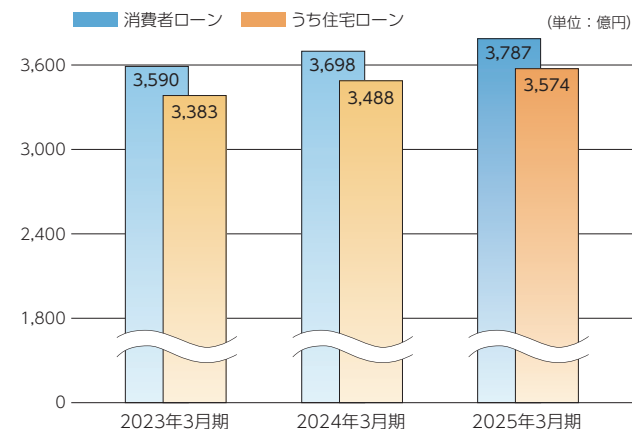
新潟県内貸出金残高は7,655億円、県内貸出金比率は65%です。

● 預り資産残高



預り資産残高は、マネーアドバイザーを中心に、新NISA制度を活用したお客さまの資産運用ニーズに積極的にお応えし、投資信託は増加しましたが、生命保険が減少したことなどにより、前年同期比6億円減少の1,758億円となりました。

● 消費者ローン残高・住宅ローン残高



消費者ローン残高は、住宅ローンを中心に前年同期比89億円増加し、3,787億円となりました。

損益

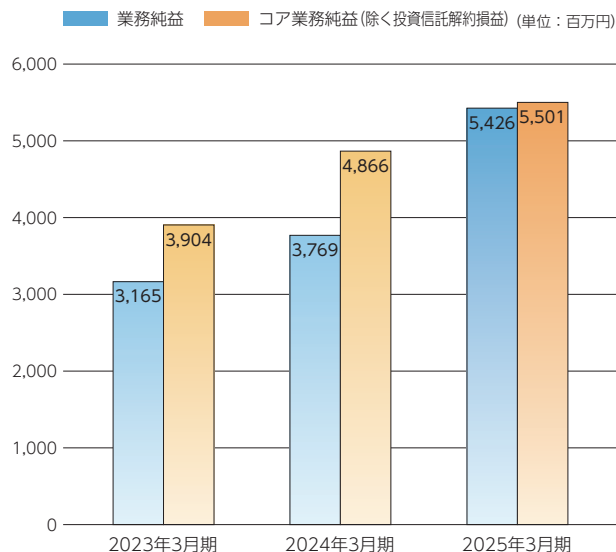
(単位：百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増 減
業務粗利益	17,074	15,187	1,887
(資金利益)	(15,930)	(14,863)	(1,067)
(役務取引等利益)	(1,577)	(1,470)	(107)
(国債等債券関係損益)	(△461)	(△1,158)	(697)
経費	11,887	11,418	469
一般貸倒引当金繰入額	△ 239	△ 0	△ 239
業務純益	5,426	3,769	1,657
(コア業務純益)	(5,648)	(4,927)	(721)
(コア業務純益 (除く投資信託解約損益))	(5,501)	(4,866)	(635)
不良債権処理額	1,699	1,912	△ 213
株式等関係損益	△ 414	1,092	△ 1,506
経常利益	3,802	3,213	589
当期純利益	2,461	1,689	772

業務純益 = 業務粗利益 - 経費 - 一般貸倒引当金繰入額

コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券関係損益

● 業務純益・コア業務純益 (除く投資信託解約損益)



〈前年同期との比較〉

● コア業務純益 (除く投資信託解約損益)

資金利益や役務取引等利益が増加したことなどにより、前年同期比で6億35百万円の増益となりました。

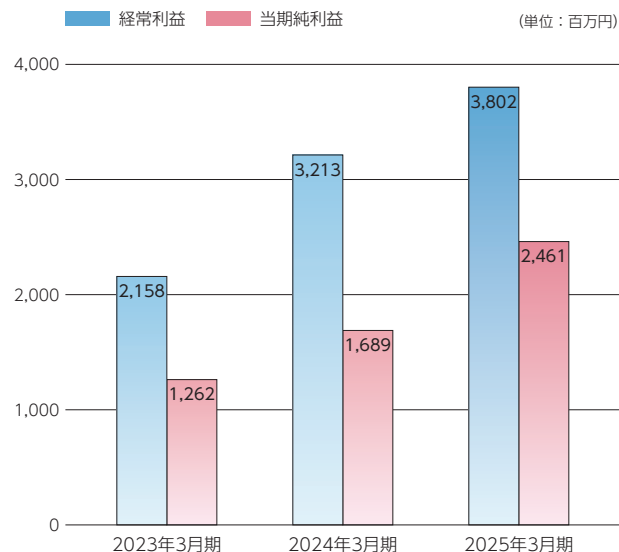
● 経常利益

コア業務純益 (除く投資信託解約損益) の増加や実質与信関係費用の減少などにより、前年同期比で5億89百万円の増益となりました。

● 当期純利益

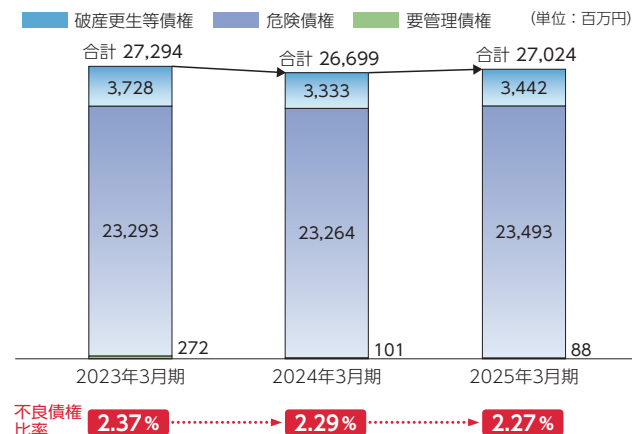
経常利益の増益などにより、前年同期比で7億72百万円の増益となりました。

● 経常利益・当期純利益



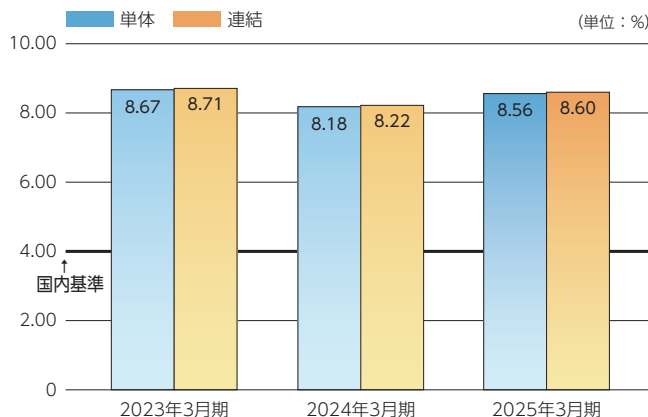
金融再生法開示債権及びリスク管理債権

- 金融再生法に基づく開示債権額は、前年同期比3億円増加の270億円で、総与信額に占める割合は2.27%となりました。



自己資本比率

- 自己資本比率は、単体が8.56%、連結が8.60%といずれも規制値の4%を大きく上回る水準であり、引き続き高い健全性を維持しております。



有価証券の評価損益

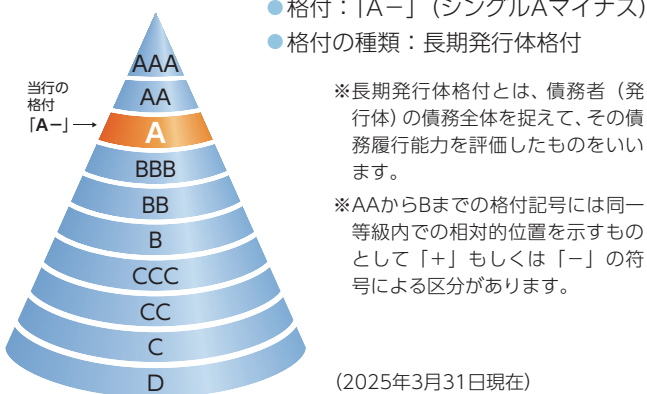
(単位：百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増 減
満期保有目的	△ 535	△ 163	△ 372
その他有価証券	△8,945	△1,020	△7,925
株式	7,631	7,326	305
債券	△7,987	△2,719	△5,268
その他	△8,589	△5,628	△2,961
合計	△9,481	△1,184	△8,297

- 有価証券全体の評価損益は△94億81百万円となりました。

格付

株式会社日本格付研究所(JCR)より格付を取得しています。



最近のニュース

長岡市・日本精機・大光銀行の合同研修 「長岡市未来共創プロジェクト ～誰もが住みやすい長岡市にするには～」 (通称：ながプロ) の開催

(2024年12月10日～2025年2月13日)

長岡市、日本精機株式会社と合同で、地方創生・SDGsに関する研修を開催しました。本研修は、地元長岡の次期総合計画策定に向けたアイデアの検討や異業種交流を通じて、多様な価値観を持った人材を育成するとともに職員のエンゲージメントの向上を図ることを目的に開催したものです。当行は今後も、産官金の取組みを通じて、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



「副業・兼業制度」の導入

(2025年3月1日)

従業員のエンゲージメントの向上、地域貢献の実践等を目的に、「副業・兼業制度」を導入しました。従業員の多様な働き方の実現に取り組み、やりがい・働きがいを高める環境を整備するとともに、人的資本への投資を積極的に行い、お客さまに付加価値の高いサービスを提供することで、地域の持続的な発展と成長に貢献してまいります。

長岡管工事業協同組合との 包括連携協定の締結

(2025年2月20日)

長岡管工事業協同組合の会員企業の企業価値向上に向けた取組みなどを支援するため、同組合と包括連携協定を締結しました。本協定に基づく取組みを通じて、市民生活のライフラインを支える管工事業の更なる活性化と地域経済の持続的な発展に貢献してまいります。

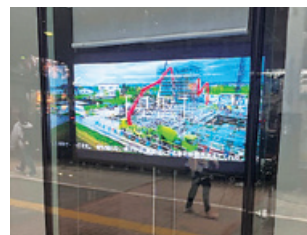


広告媒体事業 「たいこうデジタルサイネージサービス」の 取扱開始

(2025年2月3日)

事業者のお客さまのプロモーション支援を目的に、広告媒体事業に参入し、「たいこうデジタルサイネージサービス」の取扱いを開始しました。

本サービスは、銀行という公共性・信頼性の高い場所にて、事業者のお客さまの広告素材を放映することで、ブランディング強化や認知度向上、事業拡大・販売促進に貢献することを目的としています。当行は今後も、事業者のお客さまの多様化するニーズと経営課題解決に向けた最適なソリューションを提供し、地域経済の発展に貢献してまいります。



ワクワク向上委員会による ワクワク感向上の取組み

第13次中期経営計画のビジョンに掲げている「働く全ての人が互いに高め合い、いきいき・はつらつと輝いている銀行」の実現に向け、2024年4月に頭取直轄の組織として「ワクワク向上委員会」を設置しました。

若手行員が中心となって銀行全体のワクワク感向上につながる施策を立案し、2024年度は「本部見学会」「名刺で自己紹介」などの施策を順次実行に移してきました。2025年度も活動を継続し、従業員のやりがい・働きがいを高めてまいります。



事業者の皆さまへ

中小事業者の皆さまの事業発展に必要な資金の安定供給に努めるとともに、経営課題の解決に向け迅速・的確にサポートするため、融資商品・サービスの充実に力を入れております。

● 主な商品・サービス

創業・新事業を目指す方

新たに事業を開始された事業者さまやこれから事業を開始する計画をお持ちの方などを対象とした商品

- ・たいこう創業支援ローン「勇進」
 - ・たいこう創業支援ローン「ドリームエール」
- 地域に潜在するアイデアを実現する取組み
- ・たいこう創業塾
 - ・たいこうニュービジネスアワード



事業承継に課題をお持ちの方

- ・たいこう次世代経営塾
 - ・事業承継支援サービス（※）
 - ・M&A関連支援サービス（※）
 - ・自社株評価サービス
 - ・地元応援型M&Aサービス
- 「“にいがた”の結び目」



本業の更なる拡大を目指す方

- ・販路拡大等を支援する「ビジネスマッチング・サービス」
- ・人材紹介業務
- ・脱炭素化支援
- ・技術・知的財産評価支援サービス
- ・補助金・助成金申請支援
- ・海外進出支援
- ・上場支援（※）
- ・デジタル化・DX支援
- （New）・プロモーション支援



ほかにも多数のサービスを取り揃えております。

（※）大光キャピタル&コンサルティング（株）が提供するサービス

経営改善計画策定支援サービス（※）

経営改善計画の策定支援に加え、計画策定後のモニタリング等、経営改善に向けた取組みをトータルで支援するサービス

大光SBI地域活性化ファンド（※）

ファンドの運営を通じて、新規事業や事業の成長・発展、事業承継などに取り組むお客さまに対し、資本金の供給や伴走型の経営支援を行うサービス

たいこうSDGsサポートサービス

お客さまのSDGsへの取組状況の把握と評価を行い、SDGs宣言書の策定を支援するとともに、その達成に向けたソリューションを提供するサービス

Taiko Big Advance

- ・お取引先の経営課題をトータルでサポートするWebサービス
- ・2,000社を超える大手企業やプラットフォーム参加金融機関会員同士のビジネスマッチング、情報提供・福利厚生サービスを通じ、中小企業のさまざまな経営課題をトータルにサポートすることで、新潟から新たな技術や未来の新事業創出を支援します。



このほかにも、事業者の皆さまに向けた各種商品をご用意しております。くわしくは窓口またはお客さま担当係におたずねください。

個人の皆さまへ

スマートフォンを活用した各種商品・サービスなど、多様化するニーズに対応し、お客さまのお役に立てるさまざまな商品を取り揃えております。

大光Visaデビットカード

大光Visaデビットカードは、国内外のVisa加盟店やネットショッピングで24時間365日、現金感覚で利用できるカードです。デビットカードはクレジットカードとは違い、利用したらすぐに預金口座から引き落とされるので使いすぎの心配はありません。現金の代わりにこのカードを使うことで、ATMで現金を引き出す手間や手数料が節約でき、ご利用額に応じたキャッシュバックもあるお得で便利なカードです。



「大光銀行アプリ」

「大光銀行アプリ」は、個人の金融資産を簡単に管理するための便利なアプリです。主な特徴として、「デジタル通帳」「まとめて資産管理」「クーポン配信」「各種サービスへの簡単アクセス」などを誰でも無料でご利用いただけます。特に「デジタル通帳」アプリでは、スマートフォンでいつでも、どこでも「残高・入金金明細」の確認ができるため、銀行窓口やATMを利用する必要がなくなります。今後も「大光銀行アプリ」の更なる機能追加を実施し、お客さまの利便性向上を図ってまいります。



大光銀行SBIマネープラザ

大光銀行SBIマネープラザは、当行と株式会社SBI証券の子会社であるSBIマネープラザ株式会社による共同店舗です。お客さまの大切な資産に関して、多様化・高度化するニーズにワンストップで対応し、株式会社SBI証券の豊富な商品ラインアップをご提案いたします。



たいこうリバースモーゲージローン

ご自宅に住み続けながら、自宅の価値を活用してご利用いただけるローン商品です。ご自宅を担保としてお借入いただき、ご契約者さまがお亡くなりになった場合等に、ご自宅の売却やお手元資金等によりご返済いただきます。お客さまのニーズに合わせて、複数の商品ラインアップをご用意しております。



当行で年金をお受け取りいただいている方や投資信託を購入いただいた方、退職金をお受け取りの方に金利を上乗せする定期預金商品のほか、当行のキャラクター「なじらっこ」をデザインに採用したお子さま専用の預金通帳など、お客さまのニーズに合った各種商品をご用意しております。

サステナビリティへの取組み

たいこうサステナビリティ基本方針

当行グループは、持続可能な社会の実現に向け、経営理念に基づく企業活動を通じて、地域社会の抱える課題や気候変動等の環境問題など、地域社会を取り巻くさまざまな課題の解決に向けた活動に取り組み、地域の活性化と当行グループの中長期的な企業価値の向上の両立を目指す持続的経営を行ってまいります。

ESG課題・SDGsに対する当行の主な取組み



たいこうSDGs宣言

当行グループは、サステナビリティ基本方針に基づき、地域社会を取り巻くさまざまな課題の解決に向けた活動に取り組み、国連において採択されたSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献してまいります。

<環境> [E]

事業活動を通じて環境保全の取組みを積極的かつ継続的に展開することで、低炭素・循環型社会の実現に貢献します。



<地域経済・社会> [S]

お客さまに深く入り込み、課題解決をサポートすることで、地域経済の活性化と持続可能な社会の実現に貢献します。



<ダイバーシティ> [D]

ワークライフバランスの実現や人材育成機会の充実などにより、多様な人材が誇りと高いモチベーションを持って働ける職場環境の構築に取り組みます。



<ガバナンス> [G]

コーポレート・ガバナンスの充実により、健全で透明性の高い経営体制の確立に努めます。



●：商品・サービスを通じた取組み ◆：当行自身の取組み

Environment（環境）

- サステナブルファイナンスの推進
- 環境融資「エコライナー」
- 住宅ローン…環境対策設備住宅の場合、金利を下げいたします。
- マイカーローン…エコカーや軽自動車の場合、金利を下げいたします。
- ◆ 長岡市「J-クレジット創出プロジェクト」への参加
- 新潟県カーボン・オフセット制度のコーディネーターとして取引先と森林業者をマッチング
- 「環境・人にやさしい通帳」…森林管理認証林で生産された木材を使用
- 無通帳口座・デジタル通帳
- ◆ CO₂排出量削減目標の設定
- ◆ 環境に配慮した店舗新築
- ◆ プラスチックごみの削減
- ◆ 電気自動車の導入
- ◆ エネルギー使用量削減への取組み（省エネルギー・資源の再利用）

Social（社会）

- たいこう「SDGs私募債」
- たいこうSDGsサポートサービス
- ◆ 人的資本の価値向上への取組み（次ページ参照）
- ◆ 社会貢献活動の実施（下図）
- 空き家活用促進スキーム「アキカツローン」
- ◆ 1店舗1貢献運動の実施

Governance（企業統治）

- ◆ 適切な情報開示と透明性の確保…頭取による会社説明動画の配信

社会貢献活動

地域社会の持続的な発展のため、地域の文化・スポーツの振興、福祉活動支援や子どもたちの金融知識の向上に積極的に取り組んでおります。

長岡交響楽団の定期演奏会「大光ツインスマイルコンサート」



地域の音楽文化振興を目的に、長岡交響楽団の定期演奏会を「大光ツインスマイルコンサート」と銘打って応援しております。

新潟県女子駅伝競走大会



長岡市で開催される新潟県女子駅伝競走大会に協賛しております。

金融授業



次世代社会を担う子どもたちの金融知識向上を目的に、金融授業を実施しております。

気候変動への対応

第13次中期経営計画の基本戦略に掲げる「サステナビリティ経営の実践」に基づき、SDGs（持続可能な開発目標）の達成や、政府が掲げるカーボンニュートラルの実現に向けた取組みをグループ一体で推進しております。

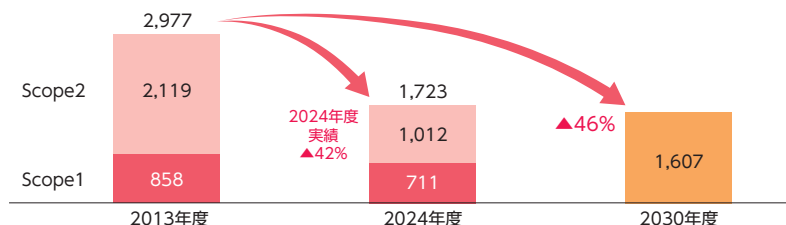
●指標と目標

CO₂排出量（Scope1・2）

2030年度
46%削減（2013年度比）

（単位：t-CO₂）

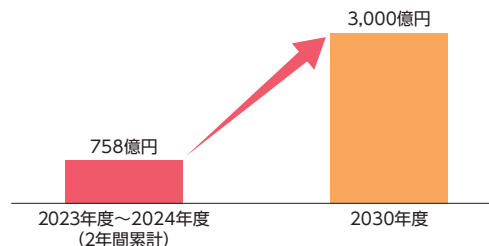
Scope1：当行グループが営業活動等において直接的に排出したCO₂排出量
Scope2：当行グループが電気等の使用に伴い間接的に排出したCO₂排出量



サステナブルファイナンス実行額

2023年度～2030年度（8年間）累計
3,000億円以上

※「環境課題や社会課題の解決ならびに持続可能な社会の実現に資する投融資」をサステナブルファイナンスと定義しています。



人的資本の価値向上への取組み

働く全ての人が互いに高め合い、いきいき・はつらつと輝いている銀行を目指し、多様な人材の育成と活躍促進、ウェルビーイングの向上などに取り組んでおります。

●多様な人材の育成に向けた取組み

- ✓ 専門人材の発掘・育成に向けた出向候補者の公募
- ✓ 公的資格の取得支援（中小企業診断士、FP）
- ✓ 行内認定資格制度（経営支援アドバイザー）
- ✓ 自己啓発の支援（奨励金、e-ラーニング）
- ✓ 階層別研修・職務別研修の充実
- ✓ リスキリングプログラムの実施 etc.

●ウェルビーイングの向上

- ✓ 「ツインパーパス」に基づく活動の実践
※当行のパーパスと従業員のMYパーパス（価値観等）が重なり合う部分を「ツインパーパス」と定義
- ✓ 人事制度改正によるチャレンジ意欲の醸成
- ✓ 健康経営の推進
- ✓ ワクワク向上委員会によるワクワク感の向上
- ✓ 副業・兼業制度の導入 etc.

●ダイバーシティ推進の取組み

- ✓ 女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画の更新
- ✓ 育休ハンドブックの作成
- ✓ 復職制度
- ✓ シニア行員の活躍推進 etc.

●ワークライフバランスの充実に向けた取組み

- ✓ 「地域総合職」の新設
- ✓ 「ノー残業デー」の導入
- ✓ 育児休業の一部有給化
- ✓ イクボス企業同盟への加盟
- ✓ 介護にかかる勤務制度の拡充 etc.



● 第123期貸借対照表

(2025年3月31日現在)

科目	金額
資産の部	
現金預け金	127,108
現金	8,402
預け金	118,706
金銭の信託	2,956
有価証券	342,696
国債	72,644
地方債	41,323
社債	80,457
株式	11,594
その他の証券	136,675
貸出金	1,171,183
割引手形	2,665
手形貸付	43,306
証書貸付	992,993
当座貸越	132,217
外国為替	2,136
外国他店預け	486
取立外国為替	1,649
その他資産	7,826
前払費用	78
未収収益	1,316
金融派生商品	7
その他の資産	6,424
有形固定資産	14,490
建物	4,263
土地	8,507
リース資産	896
建設仮勘定	531
その他の有形固定資産	291
無形固定資産	713
ソフトウェア	666
ソフトウェア仮勘定	3
その他の無形固定資産	43
前払年金費用	3,453
繰延税金資産	4,417
支払承諾見返	4,920
貸倒引当金	△6,153
資産の部合計	1,675,749

(単位: 百万円)

科目	金額
負債の部	
預金	1,430,428
当座預金	56,904
普通預金	728,511
貯蓄預金	8,887
通知預金	5,644
定期預金	614,083
定期積金	12,798
その他の預金	3,597
譲渡性預金	38,924
債券貸借取引受入担保金	28,747
借入金	88,100
借入金	88,100
外国為替	10
売渡外国為替	10
未払外国為替	0
その他負債	9,081
未払法人税等	502
未払費用	831
前受収益	735
従業員預り金	31
給付補填備金	1
リース債務	468
資産除去債務	128
その他の負債	6,381
賞与引当金	425
役員賞与引当金	15
睡眠預金払戻損失引当金	313
偶発損失引当金	142
再評価に係る繰延税金負債	1,389
支払承諾	4,920
負債の部合計	1,602,498
純資産の部	
資本金	10,000
資本剰余金	8,208
資本準備金	8,208
利益剰余金	58,560
利益準備金	1,791
その他利益剰余金	56,769
固定資産圧縮積立金	4
別途積立金	21,000
繰越利益剰余金	35,765
自己株式	△294
株主資本合計	76,475
その他有価証券評価差額金	△5,965
土地再評価差額金	2,567
評価・換算差額等合計	△3,397
新株予約権	173
純資産の部合計	73,250
負債及び純資産の部合計	1,675,749

● 第123期損益計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで)

(単位: 百万円)

科目	金額
経常収益	21,980
資金運用収益	17,076
貸出金利息	12,560
有価証券利息配当金	4,060
コールローン利息	0
預け金利息	331
その他の受入利息	123
役務取引等収益	3,441
受入為替手数料	562
その他の役務収益	2,879
その他業務収益	30
外国為替売買益	16
国債等債券売却益	3
金融派生商品収益	10
その他経常収益	1,430
償却債権取立益	442
株式等売却益	771
その他の経常収益	217
経常費用	18,177
資金調達費用	1,147
預金利息	973
譲渡性預金利息	21
コールマネー利息	87
債券貸借取引支払利息	46
借入金利息	19
その他の支払利息	0
役務取引等費用	1,864
支払為替手数料	62
その他の役務費用	1,801
その他業務費用	464
商品有価証券売買損	0
国債等債券売却損	263
国債等債券償還損	201
営業経費	11,920
その他経常費用	2,781
貸倒引当金繰入額	1,123
貸出金償却	334
株式等売却損	1,161
株式等償却	24
金銭の信託運用損	3
その他の経常費用	134
経常利益	3,802
特別利益	57
固定資産処分益	57
特別損失	148
固定資産処分損	12
減損損失	135
税引前当期純利益	3,711
法人税、住民税及び事業税	1,164
法人税等調整額	85
法人税等合計	1,249
当期純利益	2,461

● 第123期連結貸借対照表

(2025年3月31日現在)

科目	金 額
資産の部	
現金預け金	127,108
金銭の信託	2,956
有価証券	342,970
貸出金	1,170,901
外国為替	2,136
その他資産	9,779
有形固定資産	14,491
建物	4,263
土地	8,507
リース資産	896
建設仮勘定	531
その他の有形固定資産	293
無形固定資産	719
ソフトウェア	670
ソフトウェア仮勘定	3
その他の無形固定資産	44
退職給付に係る資産	5,200
繰延税金資産	3,903
支払承諾見返	4,920
貸倒引当金	△6,275
資産の部合計	1,678,812

(単位: 百万円)

科目	金 額
負債の部	
預金	1,430,361
譲渡性預金	38,924
債券貸借取引受入担保金	28,747
借入金	88,100
外国為替	10
その他負債	9,935
賞与引当金	429
役員賞与引当金	15
睡眠預金払戻損失引当金	313
偶発損失引当金	142
再評価に係る繰延税金負債	1,389
支払承諾	4,920
負債の部合計	1,603,290
純資産の部	
資本金	10,000
資本剰余金	8,208
利益剰余金	59,071
自己株式	△294
株主資本合計	76,985
その他有価証券評価差額金	△5,965
土地再評価差額金	2,567
退職給付に係る調整累計額	1,219
その他の包括利益累計額合計	△2,178
新株予約権	173
非支配株主持分	541
純資産の部合計	75,522
負債及び純資産の部合計	1,678,812

● 第123期連結損益計算書

(2024年4月1日から2025年3月31日まで) (単位: 百万円)

科目	金 額
経常収益	
資金運用収益	22,436
貸出金利息	17,088
有価証券利息配当金	12,575
有価証券利息配当金	4,057
コールローン利息及び買入手形利息	0
預け金利息	331
その他の受入利息	123
役務取引等収益	3,782
その他業務収益	133
その他経常収益	1,431
償却債権取立益	442
その他の経常収益	989
経常費用	18,544
資金調達費用	1,147
預金利息	973
譲渡性預金利息	21
コールマネー利息及び売渡手形利息	87
債券貸借取引支払利息	46
借入金利息	19
その他の支払利息	0
役務取引等費用	2,046
その他業務費用	464
営業経費	12,075
その他経常費用	2,809
貸倒引当金繰入額	1,147
その他の経常費用	1,661
経常利益	3,891
特別利益	57
固定資産処分益	57
特別損失	148
固定資産処分損	12
減損損失	135
税金等調整前当期純利益	3,800
法人税、住民税及び事業税	1,192
法人税等調整額	86
法人税等合計	1,278
当期純利益	2,521
非支配株主に帰属する当期純利益	26
親会社株主に帰属する当期純利益	2,495

大光銀行グループの状況

(2025年3月31日現在)

● 連結子会社

会社名	事業の内容	設立年月日	資本金 (百万円)	当行の 議決権比率 (%)	グループ会社の 議決権比率 (%)
たいこうカード株式会社 長岡市城内町二丁目2-4	クレジットカード業務 信用保証業務	1990年 6月29日	35	47.1	0.0
大光キャピタル&コンサルティング株式会社 長岡市東坂之上町一丁目2-3	ファンドの運営・管理業務 M&Aの仲介・支援業務 経営コンサルティング業務	2023年 5月10日	20	100.0	－

● 持分法適用関連会社

会社名	事業の内容	設立年月日	資本金 (百万円)	当行の 議決権比率 (%)	グループ会社の 議決権比率 (%)
大光リース株式会社 長岡市城内町二丁目2-4	総合リース業務	1974年 10月21日	270	5.0	34.5

株主の状況 (上位10先)

(2025年3月31日現在)

株主名	住所	持株数 (千株)	持株比率 (%)
大光従業員持株会	新潟県長岡市 大手通一丁目5番地6	320	3.35
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	東京都港区 赤坂一丁目8番1号 赤坂インターシティAIR	272	2.85
SBI地銀ホールディングス株式会社	東京都港区 泉ガーデンタワー19階	268	2.81
株式会社第四北越銀行	新潟県新潟市中央区 東堀前通七番町1071番地1	224	2.35
鈴木 高幸	東京都北区	163	1.71
株式会社東和銀行	群馬県前橋市 本町二丁目12番6号	148	1.55
株式会社大東銀行	福島県郡山市 中町19番1号	142	1.49
セコム上信越株式会社	新潟県新潟市中央区 新光町1番地10	126	1.32
株式会社トマト銀行	岡山県岡山市 北区番町二丁目3番4号	118	1.24
株式会社長野銀行	長野県松本市 渚二丁目9番38号	113	1.19
上位10先合計		1,896	19.90

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は自己名義株式を除き、小数点以下第3位を切り捨てて表示しております。
3. 当行は、自己名義株式を141千株保有しておりますが、上記株主の状況からは除外しております。

役員のご案内

(2025年3月31日現在)

● 取締役

取締役会長 (代表取締役)	石 田 幸 雄
取締役頭取 (代表取締役)	川 合 昌 一
専務取締役	鈴 木 裕 之
常務取締役	金 井 哲 男
取 締 役	相 場 実
取 締 役	高 橋 義 彦
取 締 役	関 口 寛
取 締 役 (監査等委員)	山 口 知 康
取 締 役 (監査等委員)	細 貝 巖
取 締 役 (監査等委員)	坂 井 啓 二
取 締 役 (監査等委員)	中 村 稚枝子
取 締 役 (監査等委員)	高 橋 正 秀

● 執行役員

執行役員	関 潤
執行役員	丸 山 宗 一
執行役員	酒 井 達 也
執行役員	長谷川 幸 夫

(注) 取締役の細貝巖、坂井啓二、中村稚枝子および高橋正秀は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
社外取締役4名につきましては、東京証券取引所に対し独立役員として届け出ております。

株主還元方針

銀行の公共的使命を念頭に置き経営基盤強化に向けた内部留保の充実を考慮しつつ、株主に対する配当を基本とした利益還元を通して資本効率の向上を図る。

● 配当

1株につき50円の年間配当を下限とし、親会社株主に帰属する当期純利益の水準に応じて弾力的に株主への利益還元に努める。

● 自己株式の取得

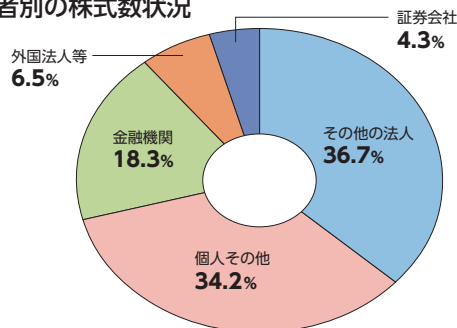
資本の充実と財務面および経営効率とのバランスをみながら、実施の是非を検討していく。

株式の状況

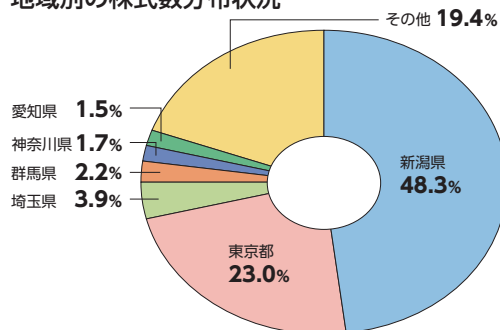
(2025年3月31日現在)

● 発行する株式の総数	20,000 千株
● 発行済株式の総数	9,671 千株
● 株主数	5,725 名

● 所有者別の株式数状況



● 地域別の株式数分布状況



株式のご案内

● 事業年度

毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。

● 配当金

期末配当は3月31日を基準日として、定時株主総会終了後にお支払いいたします。

取締役会の決議により中間配当を行う場合は、9月30日を基準日としてお支払いいたします。

● 定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

● 公告方法

電子公告により行います。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

当行ホームページアドレス <https://www.taikobank.jp/>

● 株主名簿管理人〈事務取扱場所〉

東京都千代田区丸の内一丁目3番3号

みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部

● 事務連絡先

〒168-8507 東京都杉並区泉和二丁目8番4号

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

《各種手続のお申出先》

● 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。

● 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等

証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申出ください。

証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関であるみずほ信託銀行株式会社へお申出ください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

〒168-8507 東京都杉並区泉和二丁目8番4号

電話 0120-288-324 (フリーダイヤル)

(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

《株主総会資料の電子提供制度（書面請求）についてのお問い合わせ先》

● お取引の証券会社または下記みずほ信託銀行株式会社へお問い合わせください。

みずほ信託銀行株式会社 証券代行部

電子提供制度専用ダイヤル 0120-524-324 (フリーダイヤル)

(土・日・祝日を除く 9:00～17:00)

店舗一覧 (2025年5月末現在)

新潟県

長岡地区

電話

- 本店営業部
千手支店 長岡市大手通1丁目5番地6 0258-36-4000
- ◆神田支店 長岡市神田町2丁目2番地17 0258-35-1414
- ◆長岡東支店 長岡市四郎丸3丁目5番6号 0258-34-2330
- ◆中沢支店 長岡市四郎丸3丁目5番6号 0258-34-2330
- ◆希望が丘支店 長岡市大山2丁目6番地6 0258-27-4721
- ◆長岡西支店 長岡市下柳3丁目1番21号 0258-28-0231
- ◆新保支店 長岡市新保1丁目9番6号 0258-24-1919
- ◆宮内支店 長岡市宮内3丁目11番6号 0258-35-4611
- ◆与板支店 長岡市与板町与板23番地1 0258-72-3155
- ◆関原支店 長岡市上除町西2丁目35番地 0258-46-3171

新潟地区

- ◆新潟支店 新潟市中央区古町通七番町1010番地古町フル1階・2階 025-223-4121
- ◆新津支店 新潟市秋葉区新津本町1丁目12番8号 0250-22-4121
- ◆新津西支店 新潟市西蒲区巻甲2204番地1 0256-72-3266
- ◆巻支店 新潟市西蒲区巻甲2204番地1 0256-72-3266
- ◆沼垂支店 新潟市中央区沼垂東4丁目8番35号 025-245-2271
- ◆学校町支店 新潟市中央区学校町通2番町568番地20 025-265-3111
- ◆大野支店 新潟市西区大野町3256番地 025-377-2701
- ◆白根支店 新潟市南区白根字十人割2295番地 025-372-2171
- ◆小針支店 新潟市西区小針上山10番22号 025-231-2281
- ◆大形支店 新潟市東区寺山3丁目1番8号 025-271-6621
- ◆新潟駅南支店 新潟市中央区米山3丁目14番38号 025-245-5171
- ◆亀田支店 新潟市江南区亀田本町2丁目1番34号 025-381-1122
- ◆石山支店 新潟市東区栗山1丁目19番19号 025-277-5511
- ◆小針南支店 新潟市西区小針7丁目17番25号 025-230-5511
- ◆寺尾支店 新潟市西区小針7丁目17番25号 025-230-5511
- ◆豊栄支店 新潟市北区石動1丁目17番地13 025-387-1400
- ◆小須戸支店 新潟市秋葉区小須戸字町浦3385番地1 0250-38-3211

東京支店・横浜支店・えちご大花火支店を除く全店にキャッシュサービスコーナーを設置しております。
窓口営業時間は、平日9:00～15:00となっております。(◆印のある店舗は平日11:30～12:30、■印のある店舗は平日12:00～13:00は休業とさせていただきます。)
※店舗内店舗方式により、平和台支店は内野支店、山ノ下支店は河渡支店、中沢支店は長岡東支店、新津西支店は新津支店、越後川口支店は小千谷支店、千手支店は本店営業部、寺尾支店は小針南支店に移転統合しております。

- ◆新潟駅前支店 新潟市中央区東大通1丁目7番15号 025-245-1301
- ◆内野支店 新潟市西区内野町1007番地2 025-262-5151
- ◆平和台支店 新潟市西区内野町1007番地2 025-262-5151
- ◆河渡支店 新潟市東区太平4丁目1番6 025-273-6121
- ◆山ノ下支店 新潟市東区太平4丁目1番6 025-273-6121
- ◆近江支店 新潟市中央区上近江4丁目2番16号 025-284-6171

下越地区

- ◆新発田支店 新発田市諏訪町2丁目4番22号 0254-22-3741
- ◆五泉支店 五泉市駅前1丁目10番13号 0250-43-3944
- ◆村上支店 村上市大町1番12号 0254-53-3161
- ◆水原支店 阿賀野市中央町2丁目6番22号 0250-62-2830
- ◆新発田西支店 新発田市西園町1丁目3番4号 0254-26-1241
- ◆安田支店 阿賀野市保田1821番地7 0250-68-4233
- ◆中条支店 胎内市東本町24番22号 0254-43-5337
- ◆村松支店 五泉市村松甲1754番地 0250-58-6154
- ◆津川支店 東蒲原郡阿賀町津川3472番地1 0254-92-2460

中越地区

- ◆三条支店 三条市本町3丁目6番25号 0256-32-1111
- ◆柏崎支店 柏崎市西本町1丁目3番15号 0257-22-5256
- ◆見附支店 見附市本町1丁目1番33号 0258-62-1660
- ◆燕支店 燕市宮町2番23号 0256-63-3195
- ◆十日町支店 十日町市高田町1丁目239番地1 025-752-3591
- ◆六日町支店 南魚沼市六日町2102番地1 025-772-2570
- ◆加茂支店 加茂市穀町8番38号 0256-52-1212
- ◆小千谷支店 小千谷市本町2丁目2番25号 0258-83-3551
- ◆越後川口支店 小千谷市本町2丁目2番25号 0258-83-3551
- ◆小出支店 魚沼市小出島484番地 025-792-1144
- ◆東三条支店 三条市ノ門2丁目1番22号 0256-32-3211
- ◆柏崎南支店 柏崎市日吉町3番17号 0257-24-8181

- ◆吉田支店 燕市吉田日之出町3番18号 0256-93-3121
- ◆中里支店 十日町市上山3083番地3 025-763-3431

上越地区

- ◆高田支店 上越市本町5丁目3番1号 025-523-6151
- ◆糸魚川支店 糸魚川市大町2丁目5番10号 025-552-0720
- ◆直江津支店 上越市五智1丁目3番27号 025-544-1022

佐渡地区

- ◆両津支店 佐渡市両津夷30番地 0259-27-3161
- ◆佐和田支店 佐渡市河原田本町209番地 0259-57-2188

群馬県

- ◆前橋支店 前橋市石倉町2丁目5番地3 027-251-6611

埼玉県

- ◆川口支店 川口市本町3丁目6番22号 048-224-2111
- ◆大宮支店 さいたま市大宮区土手町3丁目13番地 048-644-2111
- ◆上尾支店 上尾市柏座2丁目8番6号 048-776-2771
- ◆桶川支店 桶川市泉1丁目8番15号 048-787-4511
- ◆鴻巣支店 鴻巣市雷電1丁目3番38号 048-541-7111

東京都

- ◆東京支店 豊島区池袋2丁目40番13号池袋デュープレックスビズ1階 03-3988-1221

神奈川県

- ◆横浜支店 横浜市中区本町4丁目43番地 045-662-8621

インターネット支店

- ◆えちご大花火支店 0120-977-487

ローンスクエアのご案内

住宅ローンなどのご相談に専門スタッフが応えいたします。(営業時間)●土曜日、日曜日/10:00～17:00●水曜日を除く平日/10:00～18:00

長岡地区

ローンスクエア長岡 (神田支店内)
〒940-0052
長岡市神田町2丁目2番地17
TEL 0120-937-411
(通話料無料)



新潟中央地区

ローンスクエア新潟 (新潟駅南支店隣接)
〒950-0916
新潟市中央区米山3丁目14番38号
TEL 0120-974-585
(通話料無料)



新潟西地区

ローンスクエア西新潟 (小針支店内)
〒950-2011
新潟市西区小針上山10番22号
TEL 0120-995-250
(通話料無料)



上越地区

ローンスクエア上越 (高田支店内)
〒943-0832
上越市本町5丁目3番1号
TEL 0120-993-498
(通話料無料)



県央地区

ローンスクエア県央 (東三条支店内)
〒955-0045
三条市ノ門2丁目1番22号
TEL 0120-557-500
(通話料無料)



下越地区

ローンスクエア新発田 (新発田西支店内)
〒957-0058
新発田市西園町1丁目3番4号
TEL 0120-988-806
(通話料無料)



株式会社 大光銀行 総合企画部
〒940-8651
新潟県長岡市大手通1丁目5番地6

ホームページアドレス <https://www.taikobank.jp/>
発行/2025年6月

(当行が契約している指定紛争解決機関)
一般社団法人 全国銀行協会

連絡先：全国銀行協会相談室
電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772

お客さま相談室フリーコール
0120-36-4440 (通話料無料)

受付時間：銀行営業日の9:00～17:00

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。